

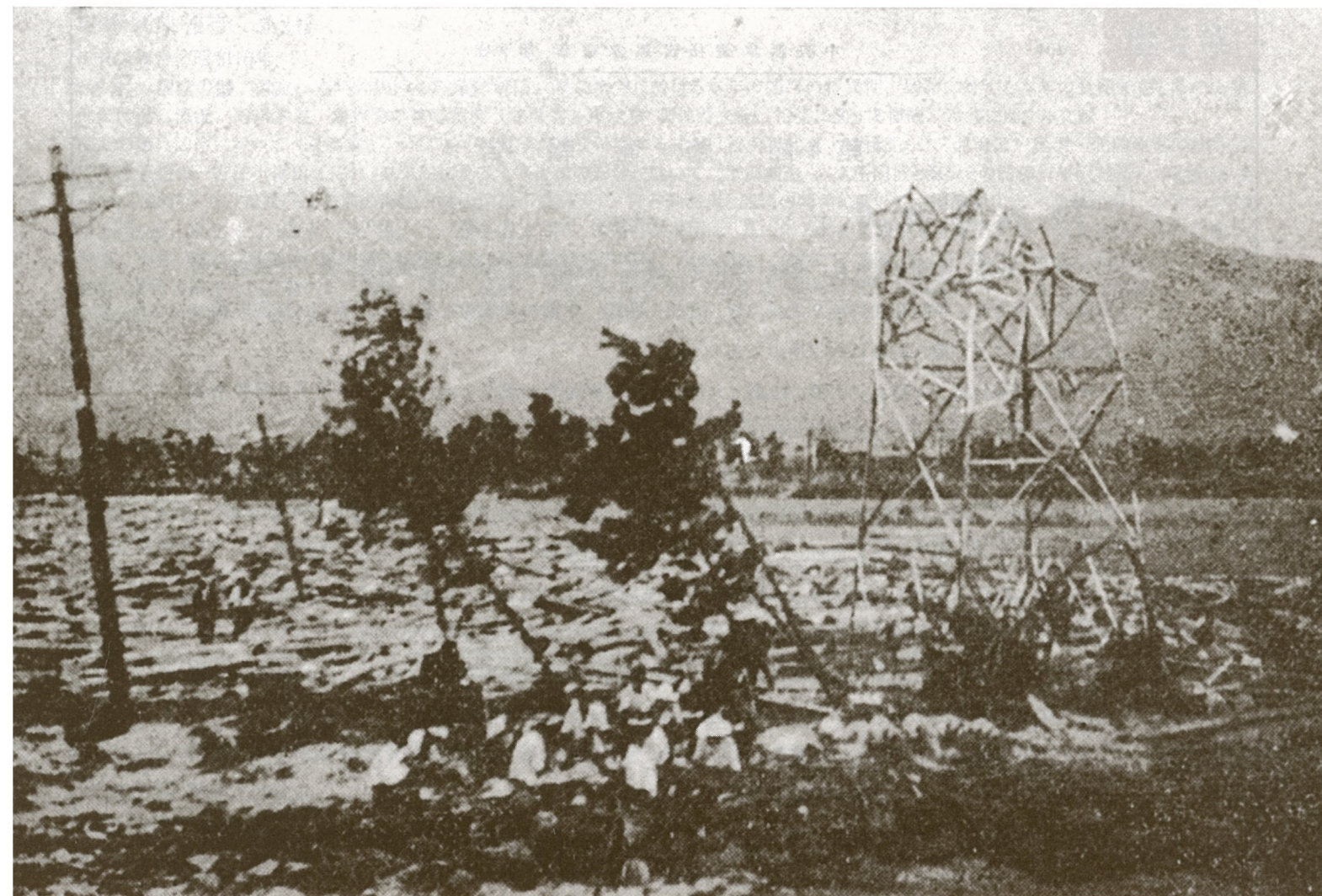
優れた防災計画をたてるために必要な過去の災害を記録した文献を復刻。

# 日本災害資料集

気象災害編全5巻

吉越 昭久 編・解説

クレス出版



『颱風による高潮』

## 第1巻

### 風災

防災科学第一巻／岩波書店／昭和10年

【内容】 颱風（堀口由己）、颱風（藤原咲平）、時化（岡田武松）、暴風警報（藤原咲平）、落雷、降雹、早手、竜巻（寺田一彦）、避雷法及び感電救助法（密田良太郎）、漁船暴風避航法（小金丸増次郎）、船舶暴風避航法（浅井栄資）

### 凶作

防災科学第四巻／岩波書店／昭和11年

【内容】 病害（石山信一）、虫害（木下周太）、救荒植物（刈米達夫）、気象信号標式（岡田武松）

## 第2巻

### 秘密気象報告 第1巻

中央气象台／昭和17、18年

【内容】 山東棉花作と気象との関係に就いて（早水逸雲）、薄荷取卸油と気象との関係に就いて（網走測候所）、北海道に於ける甜菜と気象との関係に就いて（高橋秀雄）、苫前郡に於ける甜菜反当収量並びに糖分含量と気象要素との関係（高信保）、日本主要農作物道府県別累年反当収量農事気象用農事統計（大後美保・鈴木雄次）、降雨前兆としての伊吹山の暖気に就いて（金家真文・西公一）、横浜に於ける風向の日変化（進藤進）、相良町須々木大火に就いて（御前崎測候所）、濃霧発生の予報に就いて（金家真文）、南洋群島に於ける赤道前線の研究及び夫に関連して颱風、スコールに就いて（上井兼文）、中緯度高層暖面図の作成と其の利用に就いて（大阪管区气象台予報掛）、裏日本の積雪量を支配する諸因子と季節の推移に及ぼす積雪の影響（福井英一郎）、沖の鳥島に関する調書（北河政明）

## 第3巻

### 秘密気象報告 第2巻

中央气象台／昭和18年

【内容】 調査の部 概説、本年の凶冷の気象的原因、東北地方に於ける本年の凶冷の特異性、凶冷に対する本年の長期予想と其の成績、気象状況、海況、河川水温、農作物の被害状況（北海道、東北）、実地踏査記、冷害に関する俚諺、冷害に関する文献  
論文の部 凶冷に就いて（星為蔵）、4月に於いて夏季気温を予察する試み（福田喜代志・高橋亮一）、北海道・奥羽・北陸地方における夏季気温予想の一方法（梅田三郎）、高気圧に及ぼす寒流域の影響に就いて（平沢健造）、気圧配置と海況との関係（平沢健造）、昭和16年6月上旬の八戸一襟裳一尻矢間の海況（檜山国雄・畠清人）、宮古沖海況と凶冷の関係に就いて（福田喜代志・遠藤武彦）、オホーツク海氷と北海道、東北地方の夏季天候に就いて（柳谷喜太郎）、紗那の流水期間と其の年の北海道及び東北地方の夏季気温並びに米作収量との相関（小林清次）、昭和16年紗那に於ける晩流水と北海道の大凶作（小林清次）、昭和16年夏季に於ける八戸地方の気象並びに海況の特異性と農作物被害状況に就いて（藤田・檜山・馬場）、昭和16年夏季の気象状態と被害状況との関係に就いて（仙台地方气象台）、青森地方の凶作と山背風（北沢貞雄）

## 第4巻

### 秘密気象報告 第3巻、第4巻

中央气象台／昭和18年

【内容】 昭和16年7-8月の前橋地方の雷雨の気象学的調査、大気の垂直不安定度と雷雨の規模及び強度との関係（中央气象台図書課）、高層気象観測によりみた颱風の発生について、高層気象観測によりみた颱風の発達について、颱風の衰弱と第2次前線に依る発生、赤道を挟む両半球天気図による解析、（上井兼文）、北鮮地方の海霧の成因に就いて（内海徳太郎）、銚子の霧とその予報（蔵重一彦）、潮岬の地上風に就いて、潮岬に於ける気圧の日変化に就いて（山口芳一）、関東地方に生ずる地形性不連続線（秋山和夫・加藤金義・篠原武次）、冬期の不連続線・低気圧・移動性高気圧等の週期に就いて、気温偏差図の分類に就いて、（相楽正俊）、函館に於ける初霜に関する調査（岡部龍信・比留間ふみ）、昭和16年8月19日-25日大分県日田市を中心とした雷雨観測に就いて（福岡管区气象台）

## 第5巻

### 秘密気象報告 第6巻

中央气象台／昭和19年

【内容】 昭和17年8月27、28日の颱風・高潮調査報告（概説、気象学的概観、颱風による高潮、颱風被害、颱風による地盤脈道の調査、特別報告、特令暴風警報発表に就いて

## 『日本災害資料集 気象災害編』の刊行に寄せて

立命館大学文学部教授

### 吉越昭久

日本では、地震や水害、土砂災害、気象災害などが頻発しており、今や災害に安全な場所がどこにもみあたらないという不安を抱くのは筆者だけであるまい。行政や研究に携わる人だけでなく一般の人々の間でも、近年ほど災害や防災に対する関心が高まったことはなかったのではないだろうか。

以下に、「日本災害資料集 水害編」の刊行に寄せてで書いた内容を少し引用させていただきたい。「災害は、繰り返し発生する。将来の災害を予測し、被害を可能な限り小さくするためには、過去の歴史に学ぶことが一つの方法としてあげられる。各地域は、それぞれに過去の災害履歴を有している。そこで、まずそれを正確に調べ地域の脆弱性を知る必要がある。災害が頻発する地域では、これまでに様々な対応がされてきており、そのような中から防災や減災の知恵を学ぶことができる。」しかし、これまでその点が充分に行われてきたとはいえない。その理由として、災害資料の入手が比較的困難であったことが考えられる。

本シリーズは、「日本災害資料集」の気象災害編として企画された。既に、同じシリーズで、水害編が刊行されている。また、少し前の刊行になるが、気象研究所監修・荒川秀俊編著で『翻刻歴史史料叢書』全6巻には、日本高潮史料、近世気象災害誌、日本早魃霖雨史料などが取り上げられている。気象災害をとらえるには、それと関わりの深い水害資料や歴史史料(気象災害資料)とあわせて利用していただきたいと考える。

本シリーズでは、岩波書店の防災科学第1巻(風災)と第4巻(凶作)と、中央气象台秘密気象報告の初期の数巻を取り上げた。前者は、講座本として基礎的な事項を中心に組み立てられたものであるし、後者は気象災害に関する研究報告である。特に後者は、第二次世界大戦中に刊行されたため軍事上の秘密を有するものとして㊟扱いで、大戦後になってもあまり利用されてこなかった資料である。

本シリーズに限らず、「日本災害資料集」(水害編全7巻、地震編全12巻、火災編全7巻)全体を利用することで、過去の地域の災害履歴を明らかにし、防災計画策定に用いていただければ幸いである。

## 第5巻

104

中央气象台秘密気象報告 第6巻

## 第4節 踏査報告

### §23 九州地方\*

§23.1 小序 昭和9年9月、近畿一帯に互り暴風、高潮其他甚大な被害を與へた、所謂室戸颱風以後に於ては、今回昭和17年8月27、8日、九州、四國、中國の各地方を襲つた颱風が、吾人に與へた影響の點に於て室戸颱風に次ぐものであらう。

これが調査の爲、本臺より中國、四國、九州の各地に調査班が派遣せられることになり、我等兩名は命により、九州地方の状況踏査に赴いた。以下はその見聞の概要である。

今回の調査に於ては、被害地域として、要害地帯、或は其の他の重要地點を含んでゐた爲、戦時下として當然のことではあらうが、以前のこの種の調査に比して、計測、寫眞撮影等の點に於て制限多く、しかも各地その制限の程度を異にし、爲に場所により精粗相混するの止むなき結果となつた。

§23.2 概要 九州地方に於ける高潮襲來の状況を概観するならば、極めて限られた地點（例へば大牟田市、荒尾市、荻田町、行橋町等）に於て、家屋其他に潮の痕跡を残してゐるのみであつて、其の他の地點にあつては高潮による被害として或は道路、堤防の缺潰等はあつても、それによつて高潮浸入の状況を量的に求めることは困難、むしろ不可能の地點が多かつた。

更に以上の各地にあつても、被害當時よりも既に月餘を経た爲、復舊工事を行つた個所多く、適當なる測定物を求めることは仲々困難であつた。

是の如き事情は何故起つたかを考へるならば、一つには風力最強時に於ける風向が陸より海の方に吹くが如き、或は該時刻が偶々干潮時と一致せる等の状態にありし個所が多く（特に九州中部以南に於て）、そのため颱風により惹起された最高潮も、九州の如く干満の差甚しき地方に於ては、通常の

# 日本災害資料集 気象災害編全5巻

吉越 昭久 編・解説

第1巻	風災、凶作	定価 15,000円(税別)	ISBN978-4-87733-780-3
第2巻	秘密気象報告 第1巻	定価 16,000円(税別)	ISBN978-4-87733-781-0
第3巻	秘密気象報告 第2巻	定価 21,000円(税別)	ISBN978-4-87733-782-7
第4巻	秘密気象報告 第3巻、第4巻	定価 22,000円(税別)	ISBN978-4-87733-783-4
第5巻	秘密気象報告 第6巻	定価 15,000円(税別)	ISBN978-4-87733-784-1

A5判、B5判(第2巻～第5巻) / 上製クロス装 揃定価89,000円(税別)

平成25年10月末日刊行 ISBN978-4-87733-785-8(セット)C3344

## クレス出版好評既刊書

# 日本災害資料集

- 水害編 全7巻 吉越 昭久 編・解説
  - 第1巻 水災と雪災、水害の日本 定価 14,000円(税別) ISBN978-4-87733-683-7
  - 第2巻 大正八年 福山水害誌 定価 18,000円(税別) ISBN978-4-87733-684-4
  - 第3巻 昭和十年 群馬県風水害誌 定価 15,000円(税別) ISBN978-4-87733-685-1
  - 第4巻 水害の総合的研究 定価 11,000円(税別) ISBN978-4-87733-686-8
  - 第5巻 北上川流域水害実態調査 定価 14,000円(税別) ISBN978-4-87733-687-5
  - 第6巻 カスリン台風の研究 定価 19,000円(税別) ISBN978-4-87733-688-2
  - 第7巻 昭和二十二年 東京都水災誌 定価 14,000円(税別) ISBN978-4-87733-689-9

揃定価95,000円(税別) ISBN978-4-87733-690-5(セット)
- 地震編 全12巻 伊津野 和行 編・解説
  - 第1巻 昭和五年十一月二十六日 北伊豆地震報告 定価 14,000円(税別) ISBN978-4-87733-691-2
  - 第2巻 三陸大震災史 定価 16,000円(税別) ISBN978-4-87733-692-9
  - 第3巻 南海大震災誌 定価 25,000円(税別) ISBN978-4-87733-693-6
  - 第4巻 福井震災誌 定価 21,000円(税別) ISBN978-4-87733-694-3
  - 第5巻 北但震災誌、昭和十九年二月七日 東南海大地震調査概報 定価 16,000円(税別) ISBN978-4-87733-695-0
  - 第6巻 十勝沖地震調査報告 地震篇 定価 13,000円(税別) ISBN978-4-87733-696-7
  - 第一回全6巻 揃定価95,000円(税別) ISBN978-4-87733-697-4(セット)
  - 第7巻 震災 定価 10,000円(税別) ISBN978-4-87733-724-7
  - 第8巻 東京大正震災誌 定価 18,000円(税別) ISBN978-4-87733-725-4
  - 第9巻 丹後地震誌 定価 14,000円(税別) ISBN978-4-87733-726-1
  - 第10巻 昭和八年三月三日 三陸沖強度及津浪報告 定価 10,000円(税別) ISBN978-4-87733-727-8
  - 第11巻 福井地震誌 定価 14,000円(税別) ISBN978-4-87733-728-5
  - 第12巻 十勝沖地震調査報告 その二 定価 30,000円(税別) ISBN978-4-87733-729-2
  - 第二回全6巻 揃定価86,000円(税別) ISBN978-4-87733-730-8(セット)
- 火災編 全7巻 田中 哮義 編・解説
  - 第1巻 火災、白木屋の大火、明日の都市 定価 14,000円(税別) ISBN978-4-87733-758-2
  - 第2巻 大正 大震災大火災、大地震による大火災、関東大震災と帝都復興事業 定価 15,000円(税別) ISBN978-4-87733-781-0
  - 第2巻 秘密気象報告 第1巻 定価 15,000円(税別) ISBN978-4-87733-759-9
  - 第3巻 函館大火史 附消防沿革史 定価 10,000円(税別) ISBN978-4-87733-760-5
  - 第4巻 鳥取市大火災誌(復興篇) 定価 14,000円(税別) ISBN978-4-87733-761-2
  - 第5巻 震災予防調査会報告 第百号(戊) 定価 13,000円(税別) ISBN978-4-87733-762-9
  - 第6巻 都市不燃化運動史 定価 16,000円(税別) ISBN978-4-87733-763-6
  - 第7巻 戦災復興と全国戦災都市連盟の歩み 定価 13,000円(税別) ISBN978-4-87733-764-3

揃定価95,000円(税別) ISBN978-4-87733-765-0(セット)